



財津 徹 テノールリサイタル

～春のシューベルト～

美しき水車小屋の娘 〈全20曲〉

Die schöne Müllerin

2009年3月28日 | 土 | 15:30 開場
16:00 開演

場所 / 富士屋 Gallery ^{はなやもも} 一也百 料金 / 2,000円

テノール / 財津 徹

Toru ZAITSU

1966年福岡市生まれ。武蔵野音楽大学声楽学科卒業後、佐賀県東明館学園にて教鞭をとる。91年より4年間ドイツ・リュベックに留学、リュベック音楽大学教授R・アウエ氏の下、発声法、ドイツ歌曲、オペラの研鑽を積む。帰国後、福岡市を中心にオペラ、コンサート等で活躍する傍ら、福岡県及び福岡市の高等学校にて後進の指導にあたっている。

現在、福岡市立博多工業高校講師。

ピアノ / 山田 力

Chikara YAMADA

1965年福岡市生まれ。幼少の頃より多方面の音楽に親しみ、独学で学ぶ。武蔵野音楽大学に入学、その後、ドイツ・ミュンヘン、ハンブルグで研鑽を積む。帰国後、ソロをはじめアンサンブルにも力を入れ、数多くのソリストと共演する。特に歌手との共演が数多く、絶大な信頼を得ている。2007年福岡でオールパハリサイタルを行い、好評を得て同年12月宮崎、2008年3月に東京王子ホールで追加公演をする。

現在、山田音楽院を主宰し、後進の指導にも力を入れている。

解説 / ■■■■

美しき水車小屋の娘

「修業の旅に出た粉職人の若者が、美しい水車小屋の娘に恋をするが、狩人が現れて彼女を奪っていき、悲しく立ち去る若者は小川に語りかけ、永遠の眠りにつく」という物語が20曲の歌によって語られる。

シューベルトは、友人の家でヴィルヘルム・ミュラーの詩集を手にしたことで、この曲を作曲したという。この詩集を持って帰った翌日にはもう3曲も作曲していた、というエピソードがあるように、シューベルトはここに描かれている若者の姿に大きな共感を抱いていたと思われ、音楽にそれが十分に表れている。



Franz Peter Schubert
1797-1828

ご予約・お問い合わせ

富士屋
Gallery 一也百
はなやもも

TEL 0977-66-3251

大分県別府市鉄輪上1組
e-mail fujiya@fujiya-momo.jp
富士屋HP <http://www.fujiya-momo.jp>

主催 / 富士屋 Gallery 一也百
後援 / 大分合同新聞社・CTBメディア

《別府・鉄輪温泉》

